

平成30年

目黒区教育委員会

第5回定例会会議録

(平成30年2月6日開催)

第5回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成30年2月6日

開催場所 教育委員会室

| | | |
|------|---------------|--------|
| 出席委員 | 教育委員会教育長 | 尾崎 富雄 |
| | 教育委員会教育長職務代行者 | 笹尾 敦夫 |
| | 教育委員会委員 | 中山 ひとみ |
| | 教育委員会委員 | 後藤 幸子 |
| | 教育委員会委員 | 櫻井 道雄 |

| | | |
|------|----------|--------|
| 出席職員 | 教育次長 | 野口 晃 |
| | 教育政策課長 | 山野井 司 |
| | 学校統合推進課長 | 増田 武 |
| | 学校運営課長 | 村上 隆章 |
| | 学校施設計画課長 | 照井 美奈子 |
| | 教育指導課長 | 田中 浩 |
| | 教育支援課長 | 酒井 宏 |
| | 統括指導主事 | 寺尾 千英 |
| | 統括指導主事 | 古舘 秀樹 |
| | 生涯学習課長 | 馬場 和昭 |
| | 八雲中央図書館長 | 石松 千明 |

| | | |
|----|--|--------|
| 書記 | | 小野塚 幸隆 |
| | | 山東 隆博 |

(議事日程)

- | | | |
|-------|-------|--|
| 日程第1 | 議案第3号 | 平成29年度目黒区一般会計補正予算(第3号) (意見聴取) |
| 日程第2 | 議案第4号 | 平成30年度目黒区一般会計予算(意見聴取) |
| 日程第3 | 報告事項 | 平成30年度教育行政運営方針(素案)について |
| 日程第4 | 報告事項 | 油面住区センター児童館学童保育クラブの定員 超過対応について(案) |
| 日程第5 | 報告事項 | 平成29年度いじめ防止プログラム実施結果に ついて |
| 日程第6 | 報告事項 | 平成29年度小・中学校祝辞について(素案) |
| 日程第7 | 報告事項 | 平成30年度めぐろシティカレッジについて |
| 日程第8 | 報告事項 | 平成30年度社会教育館・緑が丘文化会館・青 少年プラザの年間事業計画(案)について |
| 日程第9 | 報告事項 | 図書館情報システムの更新について |
| 日程第10 | 報告事項 | インフルエンザによる学級閉鎖の状況について |

資料配布

- ・第9回中学生「東京駅伝」の実施結果について

(午前9時30分開会)

- 教育長 第5回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。本日の欠席委員、欠席職員はございません。署名委員は後藤委員です。
ただいま、傍聴の申請がありましたのでお諮りします。傍聴を許可したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 教育長 それでは、傍聴を許可することといたします。
なお、以後の傍聴の申請はその都度許可することとし、委員の皆様にはお伝えすることはいたしません。
それでは日程第1を議題とします。

(日程第1 議案第3号 平成29年度目黒区一般会計補正予算(第3号)
(意見聴取))

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等がございますか。
特にないようでございますので、採決を行います。
本件に賛成の委員は挙手を願います。

(全員挙手)

- 教育長 全員賛成ですので、議案第3号は原案どおり可決します。
次に日程第2を議題とします。

(日程第2 議案第4号 平成30年度目黒区一般会計予算(意見聴取))

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等がございますか。
特にないようでございますので、採決を行います。
本件に賛成の委員は挙手を願います。

(全員挙手)

○教育長 全員賛成ですので、議案第4号は原案どおり可決します。
次に日程第3を議題とします。

(日程第3 平成30年度教育行政運営方針(素案)について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。

○委員 私の目から見ると、実施策を先に読んだ方が分かりやすく、PDCAも読み取れるように思います。公表時には、運営方針と実施策をこの冊子の形で出すのでしょうか。

○説明員 公表の段階では、運営方針本体と別紙としての実施策をこの冊子と同じ形でPDFにして公表しております。ご覧になる方によっては先に実施策をご覧になる方もいらっしゃると思います。公表の方法としては、今回も同様の形を考えています。

○委員 であれば、むしろ実施策をメインに置くような形で概要版があり、その後に運営方針があれば読みやすいと思います。

実施策は、PDCAを読み取れるので、公表の際は工夫をお願いしたいと思います。これは要望です。

○説明員 ただいまのご意見も参考に、ホームページ上でどんな工夫ができるか考えたいと思います。

○委員 この特別支援教育の推進の中で、特別支援教育支援員とありますけれども、何か資格を持っている方なのでしょうか。

○説明員 特別支援教育支援員は、小・中学校の通常学級に在籍する学習面、生活面で支援を必要とされる児童・生徒に配置されるスタッフです。有償ボランティア的な性格で募集をいたします。資格についてですが、教員の資格を持っている方と持っていない方で、謝礼に差がつくものでございます。

○教育長 その他ご質問等ございますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

次に日程第4を議題とします。

(日程第4 油面住区センター児童館学童保育クラブの定員超過対応について(案)(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。

特にないようでしたのでこの報告を受けました。
次に日程第5を議題とします。

(日程第5 平成29年度いじめ防止プログラム実施結果について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等はございますか。
- 委員 30年度もこれと同じ形態で実施をするという認識でよろしいですか。
- 説明員 今年度と同様に30年度も第九中学校区で実施していきたいと思っております。
- 委員 同様に実施するというのであれば、資料記載の課題についての改善策は出ているのでしょうか。
- 説明員 まず、改善策でございますけれども、アの効果を数値で示すことにつきましては、アンケート以外の方法がないかどうかの検証をします。イの扱う題材の内容につきましては、指導者が外部講師であるために、ある一定の内容がプログラムされておりますので、本区だけのカスタマイズはなかなかできないということが課題としてあり、課題が据え置きになると思っております。
- ウの第4学年でのプログラムの展開につきましては、授業時数の確保ということで、各小学校に行事の精選や短時間学習で、短時間を積み上げて1時間としてカウントするというようなモジュールでの授業時数確保の可能性を研究していただいているところでございます。原町小学校と向原小学校につきましては、この5時間を捻出していただく方向で、次年度は取り組んでいきたいと考えてございます。
- 委員 捻出をしていただくのであれば、それだけの効果が求められてくると思います。外部から講師を入れているわけですから、カスタマイズできないのでは、同じことになると思うので、そこは、協力団体に子ども向けにカスタマイズしてもらうように、事務局からも少し働きかけていただいて、今年度とは違う結果が出るように頑張っていただきたいと思います。要望です。
- 委員 アンケートは別紙に書かれていますが、1ページの経緯の29年度を見ると、管理職へのヒアリング等とありますけれども、これは実施したのかどうか。実施したとすれば管理職の方がこのプ

プログラムについてどういう意見をお持ちなのかというところを伺いたいと思います。

○説明員 校長へのヒアリングにおきましても、一定の効果はあるだろうという答えでした。

それから、向原小学校に関しましては、授業公開日の中でも取り上げていただいて、一緒に子どもたちとともに、保護者についてもこのいじめ問題を考える機会となったというような報告を受けております。

○教育長 その他ご質問等ございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第6を議題とします。

(日程第6 平成29年度小・中学校祝辞について(素案)(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。

○委員 私は小学校では、ウの干支で推しておりました。今日、藤井聡太君が最速の五段昇進というニュースが出ておりましたので、私としては干支が1番ですが、将棋界が2番という感じです。

干支の犬ですが、先週、猫が好きな子どもはどうだという話がありました。私としましては、干支であるということで、ある程度子どもたちに理解されていると思いますので、犬でいいのではないかと思っています。

それから、AIのペット型ロボット、これもニュースになっておりますので、良いのではないかと思っています。

○委員 私は、何をメッセージとして伝えるかということから考えていくと、今の話題性としては将棋だと思います。連日のようにニュースで入ってきますし、今度2月17日に、羽生竜王との公式戦の初対決がありますので、今の話題性としては将棋が一番いいと思います。

ただ、将棋について、卒業式の祝辞として何を伝えるのかということ、羽生竜王の発言の中から引き出してつながっていくということになります。話題性とか食いつきやすさ、飛びつきやすさという面では将棋はいいと思います。

あとは、干支の犬ですけれども、ペット型ロボットのところで、特定の企業が目に浮かびますので、祝辞としていいのかどうか

気になります。

折り紙は、少し地味だとは思いますが、発想の転換で、小さい四角の正方形のものから色々なものが折れて、それが新しい技術に結びつくという流れはおもしろいと思います。

私は折り紙が1番、将棋が2番と思っています。

○委員

折り紙という言葉を出したとき、将棋の藤井聡太五段の話を出したとき、AIの犬が今朝のニュースになっていましたが、その話を出したとき、どれも子どもたちはイメージしやすいと思います。ですので、どれも題材としては本当に非常に子どもたちの興味・関心を引く題材だなと思って、まずその言葉が出たときに顔を上げるだろうなということがイメージできました。

その中で、折り紙は確かに小さな紙が今はこんなふうに、宇宙で実験にも使われているというのは非常にロマンがあるし、壮大な夢があると思うのですが、最後に何を伝えたいかというところを3つの題材から考えたときに、中学に行く子どもたちって、嬉しいという気持ちよりも不安な気持ちのほうが多いと私はずっと見てきました。

その中で、不安の中で多分うまくいかないことのほうが多いのではないかと思うところを、自分が今まで積み重ねてきたことを信じて、その自己肯定感を持って、新しいことに歩み続けてほしいというメッセージに持っていくには、将棋だと思いました。

折り紙は夢があって、その発想を自分の能力や個性を磨いて、可能性を広げていってほしいというプラスのことばかり子どもたちが描いているわけではないというところで、これから歩む中学校生活は不安かもしれないけれども、自分を信じて、歩んできた道を信じて前に進んで欲しいという意味から、1番が将棋で、2番が折り紙、3番が干支ということで、よろしく願いいたします。

○委員

前回は将棋と思っていましたが、小学生の対象となると、1番小さい子が小学校1年生です。幼稚園から小学校1年になったばかりの子どもに、将棋はどこまで通用するのかなとも思います。私は小学校のときに毎日のように将棋をしていましたが、今の子どもたちを見たときに将棋をしていない子も多いようです。

今、話題になっていますけれども、実際したことがない将棋がどこまで通用するのかなというのが少しありますので、折り紙を推したいと思います。

子どもが小学校の低学年のときに、外国に行く飛行機に乗ったときに、折り紙を持って行きました。近くに外国の子どもがいて、お互いに話ができないけれども、折り紙で鶴を折りだしたら、それをきっかけにして、言葉が通じないにもかかわらず、コミュニケーションをとることができたのです。折り紙は、1つのツールになると思ったものですから、折り紙が1番かと思っています。

○教育長

まず将棋ですが、私は囲碁、将棋の大ファンですが、先だって中学生の何人かとお会いする機会がありましたので、羽生竜王を知っていますか、と聞いたところ、ほとんど知らなかったのです。ましてや小学生が羽生竜王を知っているとはなかなか思いにくいのです。

加藤一二三さんは、藤井聡太当時の四段に負けたことがきっかけとなって引退をしたということで、知名度が高く、加藤一二三さんは小学生にはなじみがあると思います。藤井聡太五段を知らない人はいないということですが、何に共鳴、共感させるかという疑問が残るところもあります。

将棋界は奨励会というものがあまして、21歳までに初段、26歳までにプロである四段まで上がらないと退会しなければいけないという大変厳しい世界です。ここに書いてある内容は、奨励会に入る人は、同じ志であって、羽生竜王だけではありません。

これまで、谷川浩司九段、内藤國雄元九段、東京都の元教育委員の米長邦雄永世棋聖など、将棋界に足跡を残した方々はもちろんのこと、奨励会に入っている皆さんが同じ考え方を持っている。その中でも特に10年、20年、50年に一度しかあらわれない天才的な方が表に出てきているということなので、ここに書かれている内容が羽生竜王だけのものであればいいのですが、そうではありません。ですので、私は折り紙だと思っています。前回は申し上げましたが、小学生にとっては、就学前から折り紙を身近に触れています。その題材から一転して宇宙へ話が展開していくという、ロマンといますか、夢がある。それから、将来につなげていくという意味では、題材としては地味ですが、折り紙にしたいと私は考えております。

○委員

折り紙でいいと思います。私も異存はないです。本当に折り紙は日本独自の文化で、誰もが遊んだことだし、それが宇宙にまで広がる、展開されるということは子どもたちもとても驚くだろうし、知らない子も想像が膨らむだろうと思います。ただ、何を伝

えたいかという最後のメッセージが大事なので、イメージばかりではなく、中学校に進むあなたたちへというところのメッセージをどう落とし込んでいくかというところだけしっかり書いていただければ、折り紙はすばらしいと思います。

○教育長

ありがとうございます。

それでは、小学生についての題材例は折り紙をテーマにしたいと思います。

それでは、次に中学生にまいります。

○委員

駅伝は、応援者が協働してというところがあると思います。走っている人を立ち止まった人たちが応援するという素晴らしいものだと思います。走者とスタッフ、応援者というところが駅伝の素晴らしいところだと思います。

2番目が大器晩成ということで、言葉の意味に感じるころがあります。ただ、これはインパクトという意味ではどうかというころがあります

それから、金沢市につきましては、現在も雪でご苦労されているというところを、ニュースなどで子どもたちは知っていると思いますので、目黒区との絆という意味でいいテーマだと思っています。

ということで、1番が駅伝、2番に大器晩成と守破離です。

○委員

私は、中学校の題材は、どれもいいと思っています。そうなりますと、駅伝は今年でなくても来年でも十分に通じるだろうと思います。駅伝はある意味で永遠のテーマというか、いつ取り上げてもいいテーマだと思います。

今までもノーベル賞がないときに、駅伝がテーマに挙がってきたと思いますけれども、話題性でノーベル賞になっていたという経緯があるので、駅伝でもいいですけれども、今年の中となると、目黒区と金沢市が友好都市を結んだということで、この守破離は、今年取り上げる意味はあるのだと思っています。大器晩成も、この解釈は、いつも使っている意味とは違うので、いいテーマですが、いつでもできるテーマだと思います。今年ということであれば、守破離が一番取り上げやすいと思います。

○委員

目黒区と金沢市が友好都市を結んだので、ここはアピールしたいところですが、この守破離の言葉を今読んでいて、この守破離がそのままのメッセージになってしまいますので、目黒区教育委員会としての独自のメッセージがないと思っています。そ

こがもう少し膨らむといいのではないかと考えています。

悩んだのですけれども、駅伝がいいと思います。ここを読んでいて、駅伝は確かにいい題材です。一生懸命頑張ること、あなたの頑張りを支えてくれている人がいる、あなたもがんばらないといけないという、義務教育を終えて高校へ、仕事へと出ていく中学生に向けて、苦しくなったときに、支えてくれている人がいるということを知っていてほしい。とても良いと思います。

○委員

私も駅伝がいいかと思っています。たすきを渡す寸前で渡せなかった後のその悔しさが本人にとっても常にあります。けれども、それを支える人たちは、それについて何も言わないどころか、恐らく全力を尽くしたということ、気持ちがよくわかっているので、そういうチームのすばらしさだとか、支えている人がたくさんいるということで、駅伝がテーマとしてはすばらしいと思います。

それから、守破離ですけれども、これは目黒区と金沢市の友好ですけれども、友好についての切り口、テーマが中学生でもわかりやすいようなテーマであればよかったのかなと思います。実は、守破離は、私も初めて聞いたので、よくわからなかったです。テーマとしてはよかったですけれども、少しもったいないと感じました。

○教育長

私も皆さんと同様に、どのテーマでもいいと考えています。しかし、大器晩成について、ここで書いてある意味合いは諸説ある気がします。

我々がよく認識している、大器晩成型が一般的で、いつまでたっても偉大な人物というのはなかなか完成しづらいところまで言い切れるのかどうかという点では、大器晩成は見送りたいと思いました。

駅伝は歴史があるわけですから、今年でなくてもいいのではないかという意見はもっともですし、守破離の意味合いについては今までなじみがなかったのですけれども、説得力があるというところで関心を持っています。これは金沢との関係でいうと、茶道に特化されていくわけですが、これは華道、剣道、柔道など全て道がつくものについては守破離は全て共通しているものです。そういう意味で、金沢と結びつけてもいいとは思いますが、中学生がどう思うかということは、少し想像がしづらいところがありまして、駅伝を私は推したいと思います。

○委員

私も駅伝でいいと思います。

○教育長 ありがとうございます。それでは、駅伝でよろしくお願ひしたいと思ひます。

○説明員 次週、祝辞全体の流れが見えるような形で全体の文章を作成し、読み上げをしたいと考えております。

○教育長 その他何かございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第7を議題とします。

(日程第7 平成30年度めぐろシティカレッジについて(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第8を議題とします。

(日程第8 平成30年度社会教育館・緑が丘文化会館・青少年プラザの年間事業計画(案)について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第9を議題とします。

(日程第9 図書館情報システムの更新について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。

○委員 子どもから障害者、色々な方がご利用できるので、相当な工夫をしているのかと思ひます。図書館を利用なさっている方はどんな方が多いのでしょうか。どの年代の方が一番多いですか。

○説明員 年齢ごとの利用者の統計はございませんが、高齢の方や最近は20代、30代の方の利用も増えておりますので、幅広くお使いいただいていると考えております。

○教育長 その他ご質問等ございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第10を議題とします。

(日程第10 インフルエンザによる学級閉鎖の状況について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等がございますか。
- 委員 インフルエンザは、すごい勢いで流行ってしまっていて、この時期に満床になることは普段はないのですけれども、病院の病床がほぼ満床になってきています。
- 急患室でいろいろ聞きますと、B型とA型がほぼ半分ぐらいだということです。通常は、B型は時期がもう少し後になるのですけれども、現時点でB型が増えているということです。また、重症者は高齢者が多いということです。
- 例年と異なり、急患室に来た人の熱や全身症状が比較的なく、検査するとB型が出ています。A型にしてもB型にしても、高齢者がかかると入院率が増えるのは、転倒したり、肺炎など色々な合併症が出てくるからです。
- 肺炎といわゆる整形外科的な疾患で、入院している人が増えているというのが現状です。
- 教育長 その他ご質問等がございますか。
- 特にないようですのでこの報告を受けました。
- 教育長 その他何かございますか。
- 説明員 口頭での情報提供になりますが、本日から来週水曜日の14日まで、1階の西口ロビーで子ども教室のパネルを展示してございますので、ぜひご覧になっていただければと思います。
- 教育長 以上で本日の定例会を閉会します。

(午前10時59分閉会)